

# 市民の健康と充実の生活を 守るため、市長の英断を！

公明党 高野 典子 議員

総合的な経営管理活動のこと  
で、青森県では清掃業務等の

委託の仕様、積算基準の標準化により平成16年度、17年度の2か年で2億6000万円の経費を削減し、光熱水費等の維持管理情報の一元化等も行い、コスト削減と効率的な施設管理を目指している。本市も導入する考えはないか伺いたい。

**市長** ファシリテイマネジメントという発想でこれまで検証してきたが、財政も厳しい中で資産の有効活用や統廃合により遊休化した資産の売却等視野に入れ、これからも検討を進めていきたい。

**総合的病院誘致には、越えるべき重大な問題がある？**

**問** 11月30日に提出された病院等開設申請の許可は、県に聞くところによると2週間程度でおりるそうだが、建築基準法第48条ただし書きについて伺いたい。

**理事兼福祉部担当部長** 原則

的には建築物の影響と地域への環境悪化を招かないことが大きなポイントである。聖テレジア会も環境に配慮し、地元の見解、県の指導も受けながら柔軟かつ熱心に考えており、理解される図面ができるという基本的な姿勢で取り組んでいきたい。

**逗子の子供たちに学校教育総合プランの更なる活用を**

**問** 平成19年4月に学校教育総合プランが現場におろされたと聞くが、このプランが宝の持ち腐れにならないかという意味で、活用状況について伺いたい。

**教育長** 現在、学校が取り組んでいる具体的な例は、支援教育の理解と推進のため、教育コーディネーターを中心とした校内委員会の充実と活用ということ、医療機関、児童相談所や外部機関との連携を強化している。また、母国

語である国語教育の研究推進に当たっている学校もある。

**ディマンドタクシーは  
財政上、断念**

**問** 平日の日中、駅前にタクシーが何十台も駐車しているのを見ると、法改正もあるが何とか利用できないものかと思う。本市は、高齢化率も高くまた子育て支援の一環として何とか役立てることはできないか伺いたい。

**市長** 本市の場合は鉄道、バス、タクシーと他市に比べ交通網が充実し、ディマンド交通を実施するには事業者と競合しない制約や実験の結果、費用対効果に厳しいものがあったということ、この事業は取りやめた。改めて導入するには法律の改正等もあり、非常に厳しい状況である。  
※この他に、機構改革、市民の健康促進についての質問がありました。

平成19年4月4日定例会 (127~131)